

# 文化・芸術



「東海道五十三次漫画絵巻 日本橋」

1921年、紙本彩色  
24・7cm×33・0cm

岡本一平 (1886~1948年)

## 大川美術館企画展 「東海道五十三次」展から

### 〈名画の扉〉

明治末年から大正期で地元新聞の取材を受けて、東京の諸新聞の漫画家たちが、大聞の漫画家たちが、大同団結して「東京漫画会」を結成します。この会の中心は、東京朝日新聞に所屬して人気を博していた岡本一平でした。

この絵巻の最初の図は、岡本による「日本橋」です。明治末年に石造りの橋として竣工（しゅんこう）し、画中で登場した漫画家たちが、一大イベントとして敢行したのが、自動車による東海道五十三次の旅行でした。大橋は獅子とキリンの欄干を立って何台も和車を連れ、おそろいの笠（かさ）と系経（い）と（田中）姿の一行は、各地